

社会的活動・社会責任投資についての意識に関するアンケート調査

－ 調査票 －

アンケートの内容

アンケートの内容は、

- I. 社会的活動への関心やお金の使い方について
- II. 社会的責任投資に関連する商品やしくみについて（認知度や利用意向）
- III. 社会的活動のための資金のあり方について

についてそれぞれお聞きします。

社会的活動や社会的責任投資に関心をお持ちでない方もご回答をお願いいたします。

記入にあたってのご注意

- (1) この調査は、50歳以上の個人を対象にしています。ご記入にあたりましては、**あなた様（封筒の宛名の方）ご本人**にご回答をお願いいたします。
- (2) お答えは、問1から順に質問ごとに用意した答えの中からあてはまるものの番号に○印をつけてください。「その他」にあてはまる時は（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- (3) ○印をつける数は、質問によって1つ、あるいは2つなど、異なる場合があります。各質問ごとの説明文にしたがって○印をつけてください。
- (4) 一部の方だけに答えていただく質問もありますが、その場合は矢印（→）で示したり、説明文がありますので、該当する方のみお答えください。
- (5) 各頁の右端の⑦⑧⑨…などの数字は、電算処理用です。お答えの内容とは関係ありません。
- (6) 金額をお聞きする質問が一部ありますが、アンケートの回答結果は調査目的以外に使用することは決してございません。投資や寄付の勧誘等は一切ございませんので、ご理解のうえそれぞれの質問にご回答ください。
- (7) ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**2月3日（金）**までにご投函ください。

I. 社会的活動への関心やお金の使い方についてお聞きします

問1 あなたはボランティア活動やNPO活動などの社会的活動をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 | 2 |
| している | していない |

問2 あなたはボランティア活動やNPO活動などの社会的活動に関心がありますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------------------|-----------|-------------------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 関心がある | どちらかといえば
関心がある | どちらともいえない | どちらかといえば
関心はない | 関心はない |

↓【問3へお進みください】

→【問4へお進みください】

問3 あなたはどのような分野の活動に関心がありますか。(○は3つまで)

- 1 保健、医療、福祉の増進を図る活動
- 2 社会教育を推進する活動
- 3 まちづくりを推進する活動
- 4 学術・文化・芸術・スポーツを振興する活動
- 5 環境を保全する活動
- 6 災害救援にかかわる活動
- 7 防災防犯など地域の安全にかかわる活動
- 8 人権の擁護や平和推進活動
- 9 国際交流や協力にかかわる活動
- 10 男女差別をなくす活動など男女共同参画社会の形成を進める活動
- 11 地域の子供の相手や児童虐待防止のための活動など、子どもの健やかな育成のための活動
- 12 パソコン講座、IT教育など、情報化の普及・発展にかかわる活動
- 13 科学技術の振興をはかる活動
- 14 起業支援や商店街の活性化など地域経済の活性化につながる活動
- 15 職業訓練や就労支援など能力開発・雇用拡大につながる活動
- 16 消費者への商品情報提供、悪質商法から消費者を守る活動など消費者保護にかかわる活動
- 17 その他 ()

(余暇活動と社会的活動のあり方について全員におうかがいします)

問4 あなたは社会的活動に対して、仕事や家事以外の自分の「時間」をどのように使いたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 旅行や趣味などの余暇活動の時間を犠牲にしても、社会的活動に時間を使いたいと思う
- 2 余暇活動も社会的活動も、バランスをとって時間を使いたいと思う
- 3 余暇活動を優先し、余裕があれば社会的活動にも時間を使いたいと思う
- 4 余暇活動を犠牲にしてまで社会的活動に時間を使いたいと思わない
- 5 わからない

問5 あなたは社会的活動に対して、自分の自由に使える「お金」をどのように使いたいと思いますか。
(○は1つ)

- 1 余暇活動のお金は犠牲にしても、社会的活動の支援にお金を使いたいと思う
- 2 余暇活動のお金でも社会的活動に使うお金でも、自分が納得するほうに使いたいと思う
- 3 余暇活動のお金を優先的に確保し、余裕があれば社会的活動の支援にお金を使いたいと思う
- 4 自分のお金は余暇活動に使い、社会的活動の支援に使いたいとは思わない
- 5 その他 ()

(資産運用や投資についておうかがいします)

問6 あなたは今後ご自分の資産をどのような方法で保有・運用していきたいと考えますか。(○は3つまで)

- 1 銀行への預金 (普通預貯金・定期預貯金を含む)
- 2 郵便局等への預貯金 (普通預貯金・定期預貯金を含む)
- 3 株式
- 4 投資信託
- 5 公共債 (個人向け国債、地方債など)
- 6 公共債以外の債券 (社債など)
- 7 生命保険・簡易保険、個人年金保険
- 8 財形貯蓄
- 9 その他 ()

問7 あなたが資産の運用や貯蓄をする際に、安全性や収益性についてどのようにお考えになりますか。
(○は1つ)

- 1 資産のすべてを安全資産 (元本が保証され安全性が高い預貯金など) にあてる
- 2 資産の大部分は安全資産にあて、余裕資産などがあれば一部をリスク資産 (元本が保証されないが収益性が期待できる株式投資や投資信託など) にあてる
- 3 安全資産とリスク資産の両方を保有・運用するが、安全資産の方に多くをあてる
- 4 安全資産とリスク資産の両方を保有・運用するが、リスク資産の方に多くをあてる
- 5 資産の大部分をリスク資産で運用する
- 6 その他 ()

問8 あなたは預貯金や株式投資などの資産について、以下のAからDのそれぞれについてどのように思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちら ともい えない	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない
A 自分の資金が、どのような団体や事業に使われているかを知りたいと思う	1	2	3	4	5
B 自分の資産の一部は、環境保全など社会的活動をする団体や事業のために使われる金融商品にあてたい	1	2	3	4	5
C 自分の資金が社会的活動を行う団体や事業に使われるなら、利子や収益は多少犠牲になってもかまわない	1	2	3	4	5
D 利子や配当が高かったり値上がり期待できれば、自ら投資したり預けた資金がどのように使われようとかまわない	1	2	3	4	5

II. 社会的責任投資に関連するさまざまな商品やしぐみについてお聞きします

本アンケートでは、社会的活動（環境保全活動や人権を守る活動など）に熱心な企業に対して投資したり、地域の公益的な活動やNPOの活動などに対して資金的な支援を行うなど、社会的活動を支援するお金の使い方を総称して、「社会的責任投資」と呼ぶことにします。

ここからは、社会的責任投資に関係のあるさまざまな商品についてお聞きします。

問9 あなたは社会的活動の資金にかかわる、AからDのそれぞれの金融商品やしぐみについて知っていますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

	商品の内容も含めよく知っており投資経験・購入経験がある	商品の内容も含めよく知っているが投資経験や購入経験はない	聞いたことはある	知らない
A SRI (社会的責任投資) ファンド、エコファンド	1	2	3	4
B 市民金融、市民ファンド	1	2	3	4
C ミニ公募債 (地方債)	1	2	3	4
D 公益信託	1	2	3	4

企業の社会的責任を重視した株式投資の代表例である、SRI (Socially Responsible Investment) ファンドやエコファンドについてお聞きします。

SRI ファンド及びエコファンドとは

SRI (Socially Responsible Fund) ファンドとは…

- ・ 収益性など従来の投資尺度だけでなく、投資対象となる企業の社会的責任 (CSR) (Corporate Social Responsibility) への取り組みも投資尺度に加えて銘柄の選定を行う投資信託の総称です。社会的責任として、社会貢献活動への関与や男女間の機会均等、積極的な情報開示、人権問題、貧困問題など世界的課題への対応、などがあげられます。
- ・ エコファンドは、SRI ファンドのなかでも特に環境への配慮に積極的な企業を対象とするもの。企業の環境保全活動が企業価値自体を高めるという考え方を背景にしています。

(SRI ファンドの商品例)

「A 社会貢献ファンド」…

環境・雇用・顧客対応、市民社会貢献、企業倫理、法令順守などについて、調査、分析、評価を行った上で、中長期にわたり持続的な成長が見込まれる企業を選定

「B エコファンド」…

環境問題への対応が優れている企業、環境に関連する事業を行う企業の株式を中心に投資

問10 あなたは社会的活動や環境保全活動を行う企業を対象とした株式やSRI ファンド、エコファンドなどの株式投信に関心がありますか。(○は1つ)

1

関心がある

2

関心はない

問11 SRI ファンド、エコファンドについて、どのような条件が整えば投資してもよいとお考えになりますか。
(○は2つまで)

- 1 購入場所や購入方法が明らかで、気軽に購入を検討できる
- 2 さまざまな種類のファンドが多数あり、自分の投資意向にあったものを選べる
- 3 どのような銘柄を組み込んでいるかなど、運用の方針や運用内容がはっきりわかる
- 4 ファンドの知名度や認知度が高く、安心して購入できる
- 5 販売窓口や投資アドバイザーなどからファンドの特徴や投資についての相談や助言が受けられる
- 6 どのような条件が整っても、特に投資したいとは思わない
- 7 その他 ()

NPOやコミュニティビジネスに融資や出資を行う市民金融や市民ファンドについてお聞きします

市民金融・市民ファンドとは

市民金融や市民ファンドとは…

- ・ 銀行など金融機関ではなく、任意の団体が市民・住民から出資金としてお金を集めて、環境事業や社会福祉事業など、市民のためのサービスや地域における事業活動を行うNPOやコミュニティビジネス（地域密着の小規模ビジネス）などに対して、融資や出資を行うしくみを総称していいいます。
- ・ 市民・住民側にとっては、出資した元本の保証は必ずしも行われませんが、自ら出資したお金がどのような団体に使われるかが明確にわかる、社会のために自らのお金が使われる、といったメリットがあり注目を集めています。

(市民金融・市民ファンドの例)

「北海道 NPO バンク（札幌）」…

地域の課題解決や地域資源の活用に積極的に取り組む市民活動団体、NPO等を支援。市民、行政（北海道、札幌市）、地域金融機関（北海道労金）の出資や寄付による資金をもとに融資。

「女性・市民信用組合（WCC）設立準備会（横浜）」…

女性の地位向上や市民事業支援、環境保全、地域福祉の向上に寄与するための非営利で自主管理の金融システムづくりをめざす。準備会は出資受入団体となり、融資部門（WCB）が融資を担当。

「北海道グリーンファンド（札幌）」…

自然エネルギー利用推進、市民の環境保全意識の高揚を目的とし、風力発電事業に対する市民の幅広い受け皿となる株式会社を設立。株式会社が風力発電事業を展開、北海道、秋田県、青森県に市民風車を建設。出資者には配当金も分配されている。

問 12 あなたは市民金融や市民ファンドに対して関心がありますか。（○は1つ）

1

関心がある

【問 13 へお進みください】

2

関心はない

【問 14 へお進みください】

問 13 あなたが市民金融や市民ファンドに関心がある理由はなんですか。（○は2つまで）

- 1 自分の資産を地域活動や社会活動に役立てたいから
- 2 自分が支援をしてみたいと思っている NPO やコミュニティビジネスなどに融資や出資するファンドだから
- 3 地域の活動を支援するファンドであり、投資をすることで自らの生活にも具体的なメリットがあるから
- 4 自分のお金の使われ方を具体的に知りたいから
- 5 資金的に余裕があり、分散投資先のひとつとして考えたいから
- 6 その他（ ）

問 14 あなたが市民金融や市民ファンドに関心がない理由はなんですか。（○は2つまで）

- 1 元本を保証していないから
- 2 配当や利回りを優先していないから
- 3 自分が望んだ団体や事業に融資するとは思えないから
- 4 金融機関と比べてファンドの運営体制などに不安があるから
- 5 市民金融や市民ファンドについてよく知らないから
- 6 こうした活動の資金を自分が出す必要があるとは思わないから
- 7 その他（ ）

(全員におうかがいします)

問 15 自らの投資姿勢や条件があった市民金融や市民ファンドがあって出資するとした場合に、どの程度の金額までなら出資できますか。(○は1つ)

- 1 年間 5 千円まで
- 2 年間 1 万円まで
- 3 年間 5 万円まで
- 4 年間 10 万円まで
- 5 年間 50 万円まで
- 6 年間 50 万円以上
- 7 全く出資したくない

→ 具体的な金額をご記入ください 年間

--	--	--

万円

問 16 どのような条件を整えば市民金融や市民ファンドに出資したいと思いますか。(○は3つまで)

- 1 融資先・出資先がはっきりと公表されている
- 2 自分の望む融資先・出資先が選定されている
- 3 自分が住む地域の活動に融資・出資され自らその恩恵を受ける
- 4 市民金融や市民ファンドについての情報が幅広く入手できる
- 5 市民金融や市民ファンドの運営体制や運営主体がしっかりしている
- 6 元本の払い戻しや引き出しが自由にできる
- 7 配当・利子がつく
- 8 元本が保証されるようなしくみがある
- 9 その他 ()
- 10 どのような条件が整っても出資したいとは思わない

金融機関の社会的活動・地域活動への取組みを反映した事業や商品についてお聞きします

金融機関の社会的活動・地域活動への取組みを反映した事業・商品とは

- ・ 地方銀行や信用金庫、労働金庫など、地域に密着した金融機関などが、地域の経済活性化のために、NPOの活動やコミュニティビジネスに融資するなどの取組みをはじめています。
- ・ こうした金融機関にお金を預け入れることで、預金者は自らの資産を地域の社会経済活動のために使うことができるといえます。

(地域金融機関の取組みの例)

「奈良中央信用金庫」…

NPO 法人向けローン事業を 2000 年 5 月に開始。また、信金職員の寄付と同額を信金本体が寄付する「ならちゅうしん基金」を設置、地域活動団体やボランティア団体の助成を行っている。そのほかにも各地の信金が NPO 向けローン事業を展開。

「ろうきんNPO事業サポートローン」…

労働金庫 (全国 13 金庫) が NPO 向けのローン事業 (NPO 事業サポートローン) を展開。

問 17 銀行や信用金庫など金融機関に預金するときに、預けたお金が地域経済の活性化やNPOへの融資に使われることについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1 自分が預けた資金がそのように使われることは望ましいし、積極的にそうした預金に預けたい
- 2 自分が預けた資金がそのように使われることはいいと思うが、積極的に預け入れることはしない
- 3 自分が預けた資金がどのように運用されるか関心がない
- 4 その他 ()

問 18 預けたお金がNPOやボランティア活動の助成に使われるとした場合、仮に通常の預金に比べて金利がどの程度まで低くてもこうした商品に預金してもよいと思いますか。(○は1つ)

- 1 金利はゼロでもよい
- 2 金利が通常の半分程度でもよい
- 3 通常の預金と金利水準が同じでなければ預金はしない
- 4 その他 ()

問 19 金融機関の公共性や社会的役割を考えた場合に、どのような金融機関を預金先として選びたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 金融機関自身の情報開示や法律の遵守が適切に行われていること
- 2 融資先や融資基準が適切であること
- 3 地域の企業やNPOに対する融資に積極的であり、地域経済の活性化に寄与していること
- 4 NPOやボランティア活動などへの寄付や支援などの社会貢献を行っていること
- 5 その他 ()

地方自治体の発行する地域住民を対象としたミニ公募債についてお聞きします。

ミニ公募債とは

- ・ 「住民参加型ミニ公募債」の略で、自分の居住する地域の地方自治体が、特定の目的（施設の整備など）のために、地域の住民に限定して公募発行をする地方債です。
- ・ ミニ公募債は、通常 3-5 年の償還期間と債券としては比較的短い上、購入単位も 1 万円程度と買いやすくなっています。自治体の発行する債権である安心感や、自らのお金がどのような施設の整備に使われるかわかること、また利回りは同時期の国債より少し高めになることが多いということもあり、人気をあつめています。

問 20 あなたはミニ公募債に関心がありますか。(○は1つ)



問 21 あなたがミニ公募債に関心がある理由はなんですか。(○は1つ)

- 1 自分のお金が自分の住む地域の公共事業や公共サービスに使われるから
- 2 元本割れの心配がないから
- 3 利回りが普通預金等と比べると少しでも高いから
- 4 地元銀行などが販売窓口になっており購入しやすいから
- 5 その他 ()

社会貢献活動への募金、NPOなどへの寄付についてお聞きします

寄付について

- ・ 日本の個人の寄付総額は年額 2000 億円超程度とみられており、寄付大国といわれる米国の 20 兆円超と比べると小さい規模にとどまっています（内閣府調べ）。
- ・ 一定の条件を満たす公益法人（特定公益増進法人）やNPO法人（認定NPO法人）などに寄付した個人は、所得控除ができます。最近では寄付の拡大をはかるため、所得控除対象額が年間 5,000 円以上（現在は 1 万円以上）にまで引き下げられることや、控除対象となる認定 NPO 法人の条件を緩和する方向が示されています。

問 22 社会貢献活動への募金やNPOなどへの寄付について、あなたの現状に近いものはどれですか。

(○は1つ)

- 1 共感できる活動にはできるだけ寄付や募金をしたいし、実際にしている
- 2 活動に共感できるものには寄付や募金をしたいと思うが、実際にはあまりしたことがない
- 3 寄付や募金には特に興味はなく、したいと思わない
- 4 その他 ()

(問 22 で「2」もしくは「3」とお答えの方におうかがいします)

問 23 寄付や募金をあまりしたことがない、したいと思わない理由はなんですか。(○は2つまで)

- 1 こうした団体や活動へのお金を自分が出す必要はないと思うから
- 2 寄付や募金に回せるようなお金の余裕がないから
- 3 寄付や募金をしようとしても、団体や活動の情報がないから
- 4 寄付すべき団体や募金したいと思うような活動がないから
- 5 寄付したお金が本来の活動に使われるかどうかわからない、心配だから
- 6 現金やカードで寄付や募金をしようとしても送金や決済が面倒だから
- 7 その他 ()

(全員におうかがいします)

問 24 どのような制度、しくみがあれば寄付をしたいと思えますか。(○は2つまで)

- 1 寄付の対象となる団体や活動の情報が手軽に入手でき、寄付してみたい団体を選ぶことができる
- 2 寄付の対象となる団体の社会性、経営状況などの評価に関する情報が手軽に入手できる
- 3 寄付したい団体に行政機関以外の信頼しうる第三者機関による保証・認定がある
- 4 寄付したい団体に行政機関による保証・認定がある
- 5 安全確実で、かつ簡便な送金、決済のしくみが整っている
- 6 寄付した場合に所得税控除されるなど、税優遇措置が適用される
- 7 その他 ()

問 25 あなたは年間いくら位までなら寄付や募金にお金を使ってもよいとお考えですか。(○は1つ)

- 1 年間 5 千円まで
- 2 年間 1 万円まで
- 3 年間 5 万円まで
- 4 年間 10 万円まで
- 5 年間 50 万円まで
- 6 年間 50 万円以上 → 具体的にご記入ください 年間

--	--	--

 万円
- 7 全く使いたくない

Ⅲ. 社会的活動のための資金のあり方についてお聞きします

問 26 福祉活動や環境保全活動、まちづくり活動などの社会的活動を行う主体として、NPOや民間企業が役割を担うことについてあなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|------|--------------|-----------|----------------|--------|
| 望ましい | どちらかといえば望ましい | どちらともいえない | どちらかといえば望ましくない | 望ましくない |

問 27 社会的活動を行うNPOや民間企業の事業活動の資金について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1 活動のための資金は、国や地方自治体が税金をもとに助成すべきである
- 2 活動のための資金は、個人からの投資や出資、寄付などでもっとまかなわれるべきである
- 3 どちらともいえない
- 4 その他 ()

問 28 自分の資産を社会的責任投資に使うことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。

(○は1つ)

- 1 自分の資産を社会的活動や団体への投資・出資に積極的に組み込みたい
- 2 条件があれば自らの資産を社会的活動や団体への投資・出資に組んでもよい
- 3 自らの資産を社会的活動や団体への投資・出資に組込むつもりはない
- 4 その他 ()

(問 28 で「1」もしくは「2」とお答えの方におうかがいします)

問 29 あなたは社会的活動や社会責任投資などへの投資や出資、寄付について、どの分野であればしてもよいと思いますか。(○は3つまで)。

- 1 保健、医療、福祉の増進を図る活動
- 2 社会教育を推進する活動
- 3 まちづくりを推進する活動
- 4 学術・文化・芸術・スポーツを振興する活動
- 5 環境を保全する活動
- 6 災害救援にかかわる活動
- 7 防災防犯など地域の安全にかかわる活動
- 8 人権の擁護や平和推進活動
- 9 国際交流や協力にかかわる活動
- 10 男女差別をなくす活動など男女共同参画社会の形成を進める活動
- 11 地域の子供の相手や児童虐待防止のための活動など、子どもの健やかな育成のための活動
- 12 パソコン講座、IT教育など、情報化の普及・発展にかかわる活動
- 13 科学技術の振興をはかる活動
- 14 起業支援や商店街の活性化など地域経済の活性化につながる活動
- 15 職業訓練や就労支援など能力開発・雇用拡大につながる活動
- 16 消費者への商品情報提供、悪質商法から消費者を守る活動など消費者保護にかかわる活動
- 17 その他 ()

F 6 あなたの世帯の保有する現在の金融資産の総額と5年後に予想される金融資産の総額についてお答えください（土地・建物など不動産は除きます）

＜現在の資産総額＞

- 1 300万円未満
- 2 300～500万円未満
- 3 500～1000万円未満
- 4 1000～1500万円未満
- 5 1500～3000万円未満
- 6 3000～5000万円未満
- 7 5000～1億円未満
- 8 1億円以上

＜5年後に予想される資産総額＞

- 1 300万円未満
- 2 300～500万円未満
- 3 500～1000万円未満
- 4 1000～1500万円未満
- 5 1500～3000万円未満
- 6 3000～5000万円未満
- 7 5000～1億円未満
- 8 1億円以上

F 7 あなたの世帯の現在の負債の総額と5年後に予想される負債の総額についてお答えください（住宅ローンなどを含みます）

＜現在の負債総額＞

- 1 300万円未満
- 2 300～500万円未満
- 3 500～1000万円未満
- 4 1000～1500万円未満
- 5 1500～3000万円未満
- 6 3000～5000万円未満
- 7 5000～1億円未満
- 8 1億円以上

＜5年後に予想される負債総額＞

- 1 300万円未満
- 2 300～500万円未満
- 3 500～1000万円未満
- 4 1000～1500万円未満
- 5 1500～3000万円未満
- 6 3000～5000万円未満
- 7 5000～1億円未満
- 8 1億円以上

—ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れて、2月3日までにご返送ください。—